

令和5年11月7日  
文教委員会資料  
指 導 課

令和5年度品川区学力定着度調査および令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

○令和5年度品川区学力定着度調査の結果について

○令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

# 令和5年度 品川区学力定着度調査の結果について

- 1 調査日** 令和5年4月13日(木)  
**2 調査対象** 小学校・義務教育学校(前期課程)  
 中学校・義務教育学校(後期課程)  
**3 調査対象人数** 第2～6学年 14,128人  
 第7～9学年 4,785人

- 4 調査内容**  
 (1) 教科に関する調査  
 第2、3学年 国語、算数  
 第4、5学年 国語、社会、算数、理科  
 第6学年 国語、社会、算数、理科、英語  
 第7～9学年 国語、社会、数学、理科、英語  
 (2) 生活習慣や学習環境に関する調査  
 ・総合質問紙調査〔自己認識、社会性、学級環境、生活・学習習慣に関する意識について〕

**5 各教科の平均正答率(%)** ※黄色の部分は、全国より高い正答率。ピンク色の部分は、全国より低い正答率。

| 学年                  | 品川区  | 全国   |
|---------------------|------|------|
| <b>&lt;第2学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 81.1 | 76.9 |
| 算数                  | 87.1 | 82.9 |
| <b>&lt;第3学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 79.4 | 72.5 |
| 算数                  | 81.2 | 74.6 |
| <b>&lt;第4学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 76.2 | 70.8 |
| 社会                  | 71.0 | 68.8 |
| 算数                  | 78.0 | 71.9 |
| 理科                  | 65.1 | 63.0 |
| <b>&lt;第5学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 75.6 | 70.0 |
| 社会                  | 64.2 | 59.1 |
| 算数                  | 71.4 | 67.1 |
| 理科                  | 68.4 | 66.8 |
| <b>&lt;第6学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 73.4 | 69.0 |
| 社会                  | 69.3 | 65.4 |
| 算数                  | 70.8 | 64.6 |
| 理科                  | 62.4 | 61.1 |
| 英語                  | 82.7 | 80.9 |
| <b>&lt;第7学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 63.1 | 59.2 |
| 社会                  | 53.9 | 53.3 |
| 数学                  | 68.8 | 65.8 |
| 理科                  | 61.9 | 62.3 |
| 英語                  | 86.1 | 82.7 |
| <b>&lt;第8学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 66.3 | 63.9 |
| 社会                  | 50.8 | 51.2 |
| 数学                  | 58.3 | 53.4 |
| 理科                  | 51.3 | 54.9 |
| 英語                  | 52.2 | 46.1 |
| <b>&lt;第9学年&gt;</b> |      |      |
| 国語                  | 70.7 | 66.7 |
| 社会                  | 54.3 | 54.5 |
| 数学                  | 62.4 | 54.0 |
| 理科                  | 49.4 | 48.6 |
| 英語                  | 55.6 | 48.6 |

**6 教科に関する調査の結果概要**

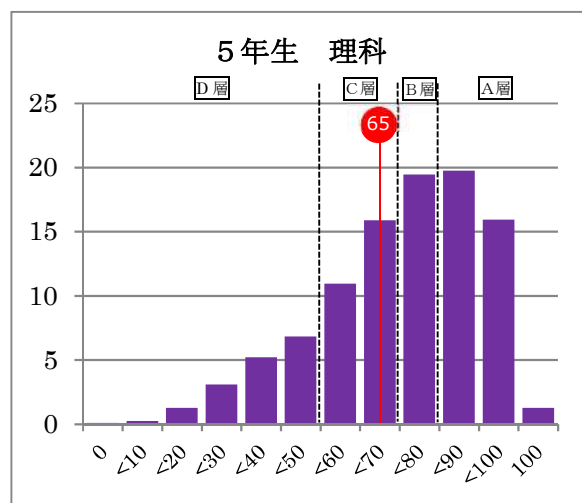
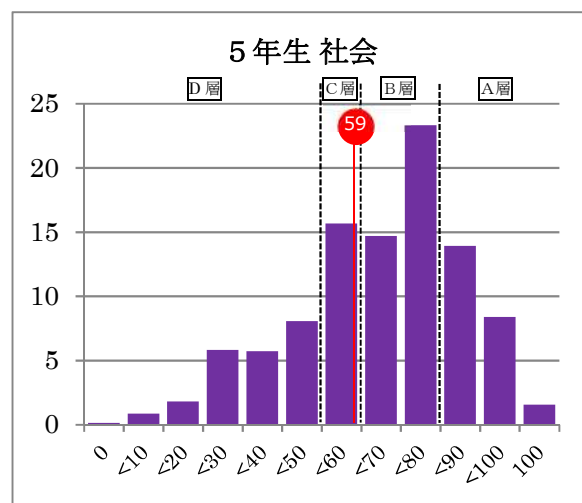
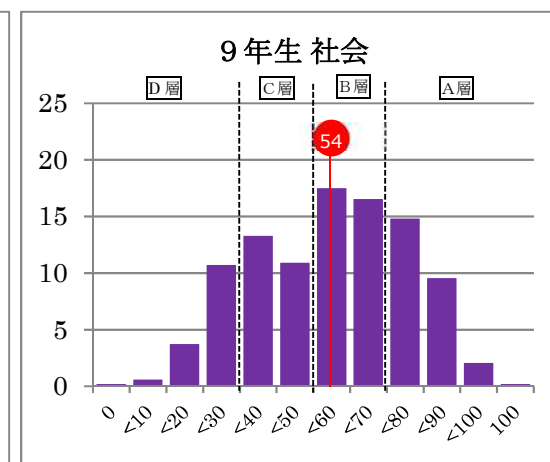
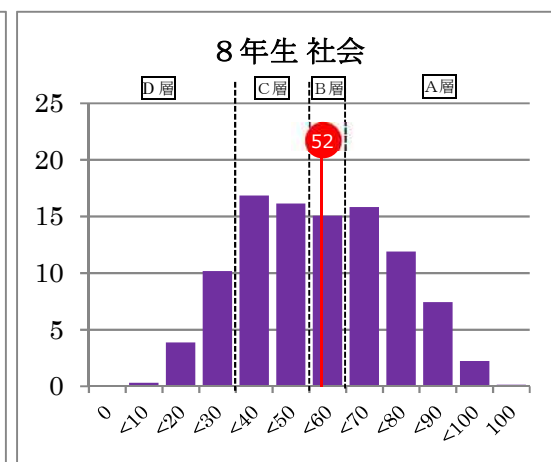
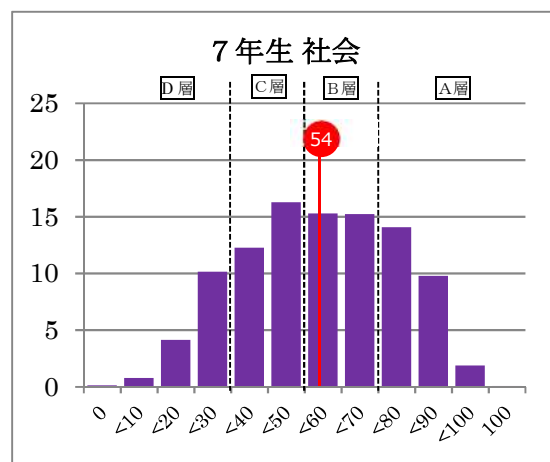
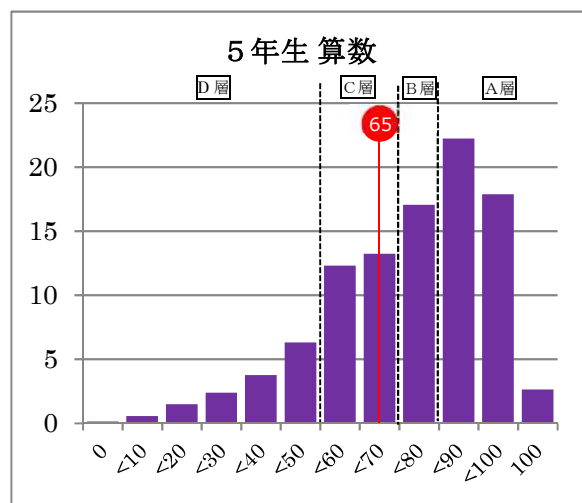
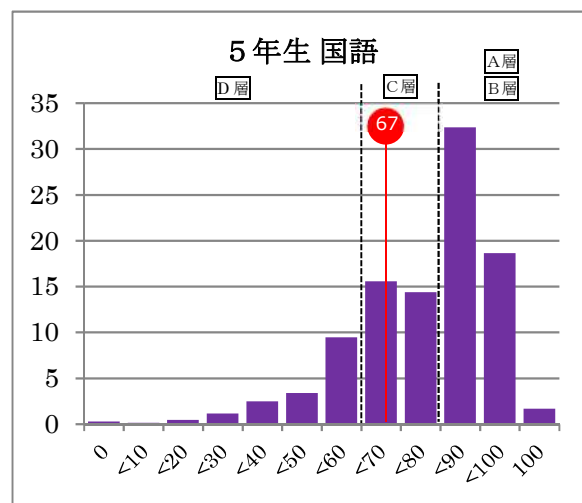
品川区正答率分布の四分位：上位層(A層)から下位層(D層)までの25%刻みで4層に分類した。赤字および赤線は、その教科の目標値(※)を示す。

※ 教科の目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、児童・生徒が正答できることを期待した正答率。

横軸は、表示の数値未満をしめしている。  
 例 「<30」 → 20%以上30%未満  
 ※ただし、0と100はそれぞれ0%、100%を表す。

【第5学年における各教科の正答率分布グラフ(横軸：正答率、縦軸：割合)】

【第7～9学年における社会の正答率分布グラフ(横軸：正答率、縦軸：割合)】

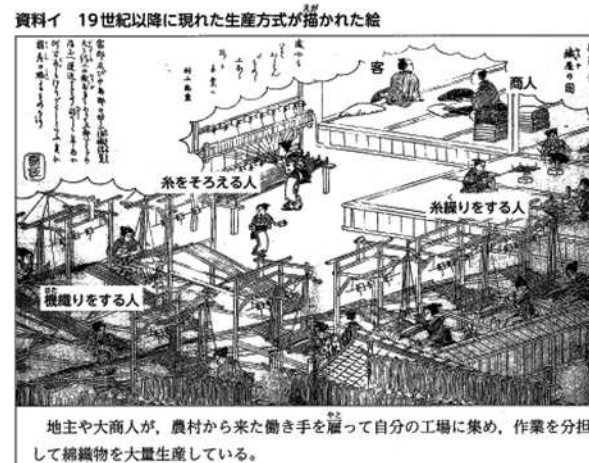


★A層は目標値に達している。B層から目標値に達しない生徒が出てきている。

**7 課題の見られる問題例**  
**【第9学年 江戸時代】**

カードC  
 18世紀に貨幣経済が浸透すると、農村では百姓による領主に対する百姓一揆、都市では米を買い占めた商人に対する貧民による打ちこわしが多数発生するなど、社会に変化が現れ始めた。

カードC中の下線部について、次の資料イが示す江戸時代の生産方式を何というか、漢字6字で書きなさい。



**正答**  
 5(4)工場制手工業  
 正答できなかった場合、江戸時代の製造業の変化について、問屋制家内工業と工場制手工業とを比較させながら、それぞれの特徴を押さえる必要がある。  
 正答率 **14.9%** 無解答 **46.4%**  
 (全国 19.3%、目標値 30.0%)  
 ▶9年生社会は、教科全体の正答率が54.3%で、目標値を約0.2ポイント下回った。8年生でも目標値を下回り、基礎・基本的な知識・技能の定着や主体的に学習に取り組む態度が課題である。

★どの教科においても、A・B層は目標値に達している。

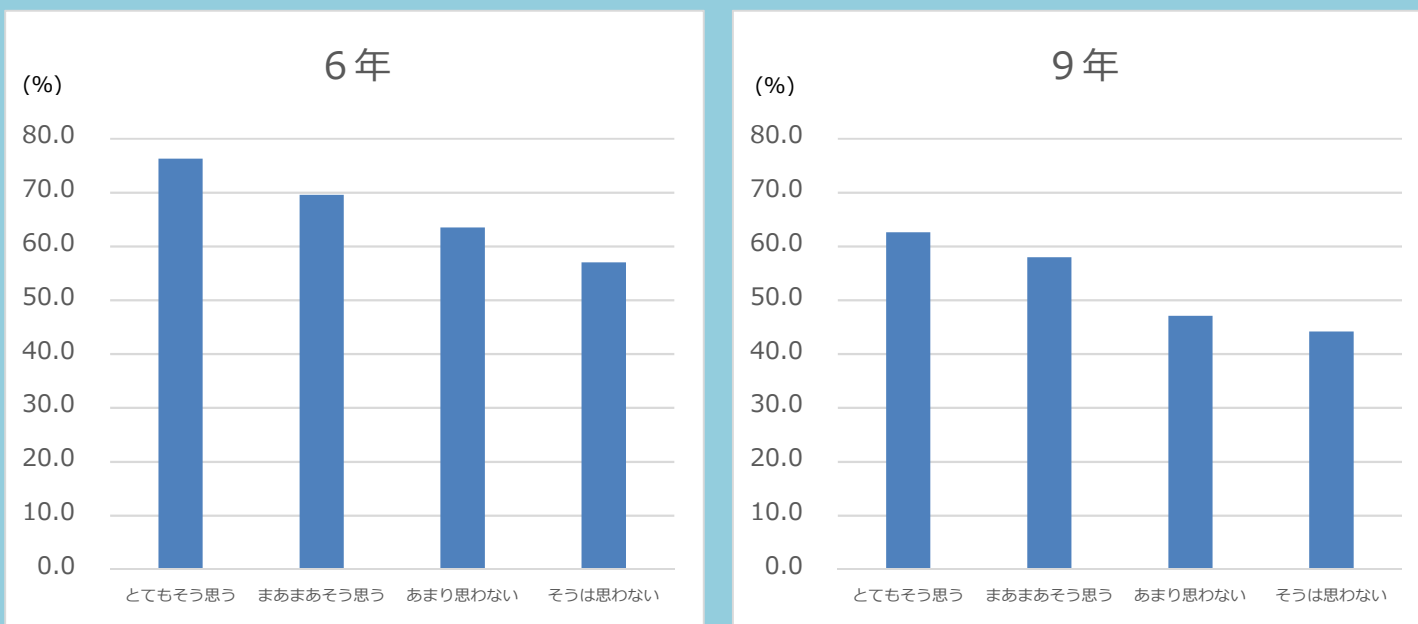
# 令和5年度 品川区学力定着度調査 クロス集計について

＜クロス集計＞ 区学力定着度調査では、授業や教科等の質問と正答率の相関関係を調査するためのクロス集計を実施している。これらの分析により、指導方法工夫改善等に生かしていく。

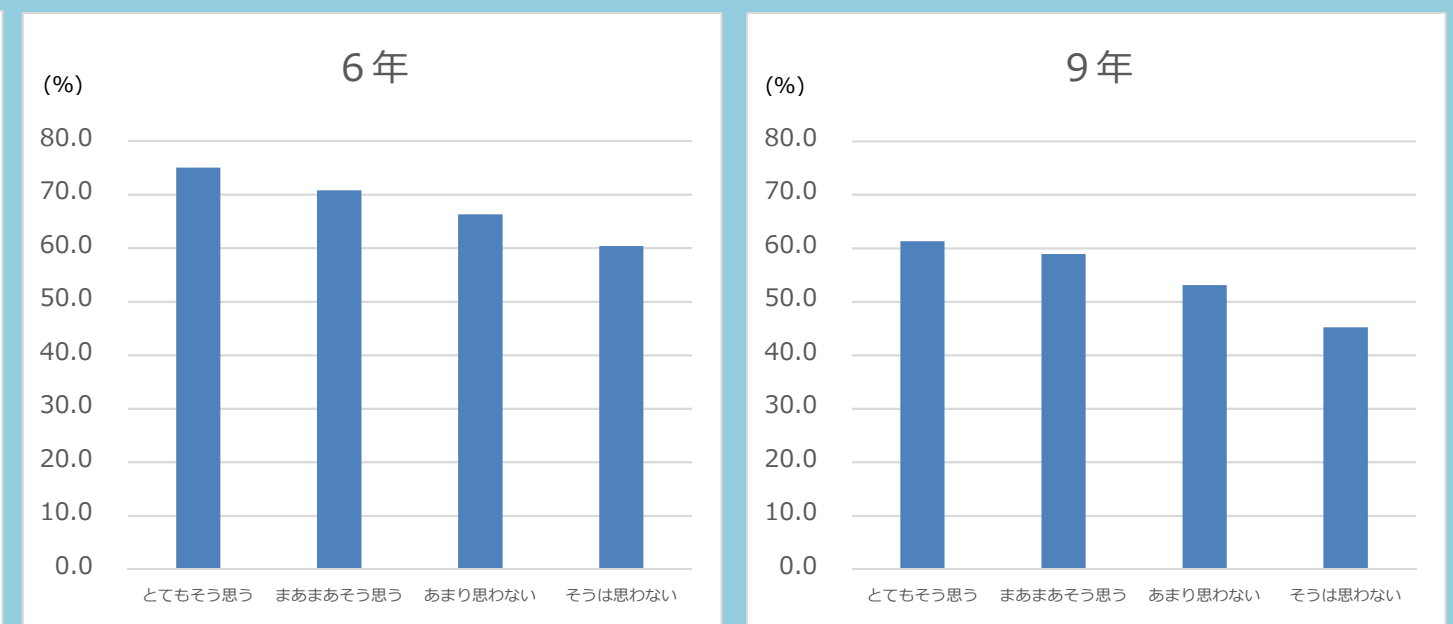
## (1) 教科を統合したクロス集計

※ グラフの縦軸は、平均正答率を表す。

○ どの教科でも、自分の考えを発表する機会がありますか。



○ どの教科でも、学習したことを振り返る活動を行っていると思いますか。

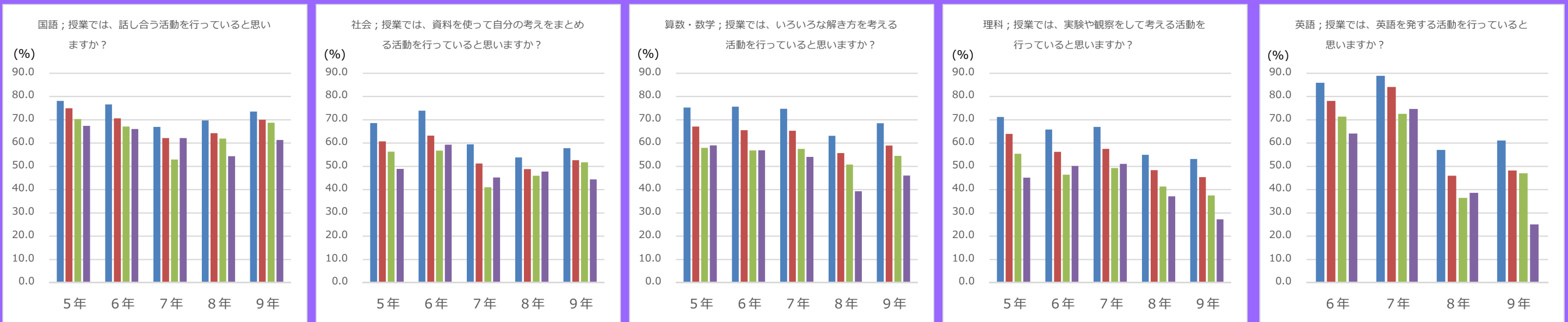


6年・9年共に「よくしている」「たまにしている」と答えた児童・生徒の正答率が高い傾向がある。

6年・9年共に「よくしている」「たまにしている」と答えた児童・生徒の正答率が高い傾向がある。

## (2) 各教科におけるクロス集計

■ とてもそう思う ■ まあまあそう思う ■ あまり思わない ■ そうは思わない ※ グラフの縦軸は、平均正答率を表す。



どの教科においても、「とてもそう思う」と答えた児童・生徒の正答率が高い傾向がある。

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

- 1 調査日** 令和5年4月18日(火)
- 2 調査対象** 小学校・義務教育学校(前期課程)第6学年  
中学校・義務教育学校(後期課程)第9学年
- 3 調査人数** 第6学年 2,539人  
第9学年 1,547人

- 4 調査内容**
- (1) 教科に関する調査  
国語、算数・数学、英語(中学校)
- (2) 生活習慣や学習環境に関する調査  
・児童・生徒質問紙調査〔学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等〕  
・学校質問紙調査〔指導方法に関する取組等や人的・物的な教育条件の整備等〕

**5 各教科の平均正答率(%)**

| 9年               | 品川区 | 東京都 | 全国   |
|------------------|-----|-----|------|
| 国語               | 73  | 72  | 69.8 |
| 数学               | 58  | 54  | 51   |
| 英語<br>(聞く・読む・書く) | 53  | 52  | 45.6 |
| 英語(話す)           | 20  |     | 12.4 |

※東京都の中学校英語「話すこと」の結果は未提供

## 6 教科に関する調査の結果概要

**上段** 【正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)】

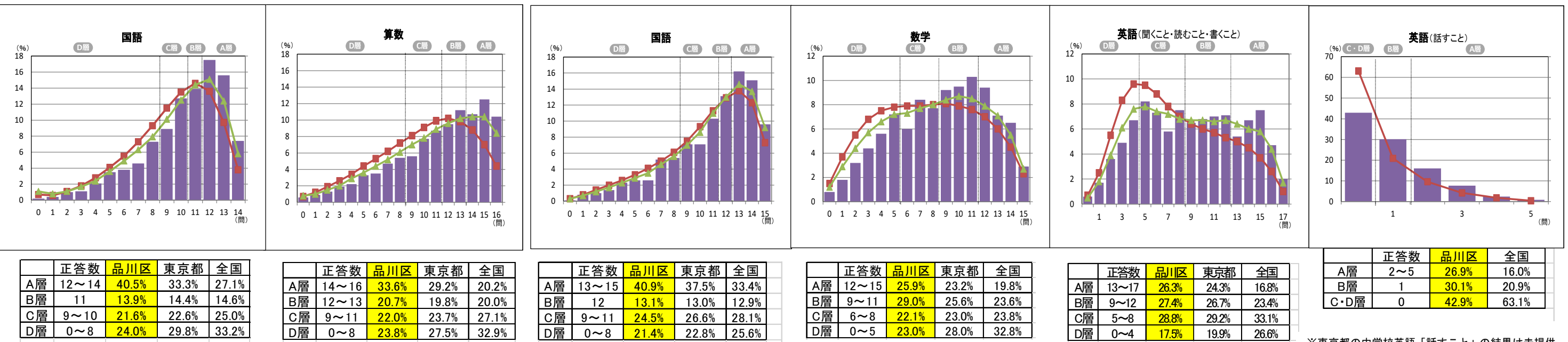
**下段** 【東京都と比較した品川区における各層の割合】東京都の正答数分布を上位層(A層)から下位層(D層)までを25%刻みで4層に分類し、品川区および全国における各層の割合を示した。



- ・第6学年、第9学年ともに、A層の割合が東京都や全国に比べて高い。
- ・第6学年、第9学年ともに、D層の割合は東京都や全国に比べて低い。

### 小学校・義務教育学校(前期課程) 第6学年

### 中学校・義務教育学校(後期課程) 第9学年



※東京都の中学校英語「話すこと」の結果は未提供

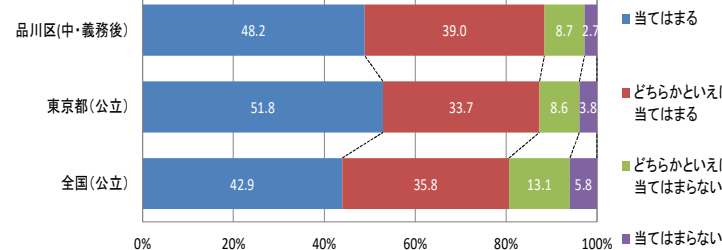
## 7 成果がみられる質問

中学校・義務教育学校では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表したり、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合ったりする活動が行われている。

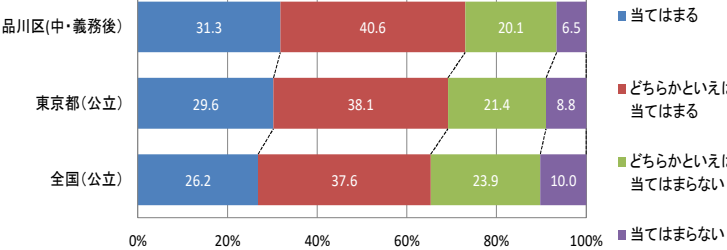
〈生徒質問紙〉1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われている。

〈生徒質問紙〉1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合ったりする活動が行われている。

### 中学校・義務教育学校(後期課程)



### 中学校・義務教育学校(後期課程)



## 8 中学校英語「話すこと」について、課題が見られた問題

環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を話す。(話すこと 大問2)

|       | 品川区   | 全国    |
|-------|-------|-------|
| 平均正答率 | 7.1%  | 4.2%  |
| 無回答率  | 10.8% | 18.8% |

- (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。
- ① 話し手の意見に対する自分の考えを伝えている。
  - ② ①の理由について伝えている。

(正答例) ・I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our actions to protect the environment like people in New Zealand.  
(誤答例) ・26.2% people in Japan buy plastic bags. ・I'm surprised. ・We are buy eco bag.

(誤答例)のように解答した生徒49.5%である。話し手の意見に対する自分の考えを話しておらず、与えられた話題についてグラフの説明や自分の感想のみを話している。または、自分の考えとその理由を話すために必要な表現が身に付いていないと考えられる。聞いたことを話す際には、**話される内容を理解した上で、聞いて得た知識や情報について自分の考えやその理由を整理し、既習の表現などを活用して相手に伝えるように話すことが重要である。**